

●今月の「ポピー」の算数で学習するおもな内容と大切なことがあります。

□の数字は、教科書のページ数です。

1年 いくつと いくつ 24~31

●10までの数の合成・分解の勉強をします。

「10はいくつといくつに分けられるか」「いくつといくつで10になるか」を考えることは、6月から始まるたし算やひき算の基礎になる大切な勉強です。10個のあめを用意し、片手のあめを見せてもう一方のあめの数を当てさせるゲームなど、お子さんが興味を持つように工夫しましょう。



慣れるまでは、おはじきなどの「物」をさわりながら考えましょう。

3年 わり算、倍の計算 36~55

●わり算の意味を知り、わり算の答えが求められますようにします。

$$12 \div 3 = 4$$

3のだんの九九を使うよ。



〈12個を3人で同じ数ずつ分ける〉

$$\bigcirc\bigcirc\bigcirc\bigcirc|\bigcirc\bigcirc\bigcirc\bigcirc|\bigcirc\bigcirc\bigcirc\bigcirc$$

〈12個を1人に3個ずつ分ける〉

$$\bigcirc\bigcirc\bigcirc|\bigcirc\bigcirc\bigcirc|\bigcirc\bigcirc\bigcirc|\bigcirc\bigcirc\bigcirc$$

ポイントかけ算九九を覚えていないとできないので、しっかり復習しておきましょう。

●ある量(72cm)がもとにする量(9cm)の何倍か、を求めるときにはわり算を使うことを学習します。 $72(\text{cm}) \div 9(\text{cm}) = 8(\text{倍})$

5年 比例、平均、倍数と約数 36~70

●比例について学習します。

〈例〉2つの量 ○と△

○が2倍、3倍、…になると、△も2倍、3倍、…になる。=「△は○に比例する」

●平均の意味を知り、平均の求め方を学習します。

平均=合計 ÷ 個数

●整数には奇数と偶数があることを学習します。

0は偶数です。

●倍数・公倍数・最小公倍数や約数・公約数・最大公約数の意味を知り、それらの数が求められるようにします。

倍数=「ある整数」を整数倍してできる整数

約数=「ある整数」をわり切ることができる整数

2年 ひき算の ひっ算、長さ(1) 52~75

●2けたの数のひき算の筆算ができるようにします。

$$\begin{array}{r} 310 \\ - 45 \\ \hline 27 \end{array}$$

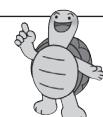
① 位をたてにそろえて書く。

② 一の位の計算

5から8はひけないので、十の位から1くり下げる。

$$15-8=7$$

くり下げた後の数を書く習慣をつけよう。



③ 十の位の計算

十の位は1くり下げたので3。

$$3-1=2$$

④ 答えは27。

●長さの単位「cm」「mm」を習います。

4年 わり算、角 38~58

●わり算のきまりをたしかめ、何十、何百のわり算を学習します。

〈商が同じになるわり算〉

わられる数とわる数に同じ数をかけても、同じ数でわっても、商は変わらない。

$$5 \div 1 = 5$$

$\downarrow \times 4$

$$20 \div 4 = 5$$

$$30 \div 10 = 3$$

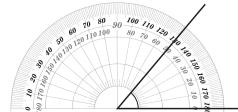
$\downarrow \div 5$

$$6 \div 2 = 3$$

商は同じ

商は同じ

●分度器を使って角度をはかったり、角をかく練習をし、三角じょうぎや時計を使って角の大きさの計算を学習します。



6年 分数と整数のかけ算とわり算、分数×分数 44~70

●分数×整数、分数÷整数、分数×分数の計算ができるようにします。

$$\textcircled{1} \quad \frac{b}{a} \times c = \frac{b \times c}{a}$$

$$\textcircled{2} \quad \frac{b}{a} \div c = \frac{b}{a \times c}$$

$$\textcircled{3} \quad \frac{b}{a} \times \frac{d}{c} = \frac{b \times d}{a \times c}$$

計算のとちゅうで約分できるときは、約分してから計算するとかんたん！

分母どうし、分子どうしでかけます。

